

岩田健三郎さんの版画教室



今年も岩田健三郎さんの版画教室を開催します。
あたたかな心伝わる手づくりの年賀状で、
新年のごあいさつはいかがでしょう。
家族そろってご参加ください。



日時: 12月10日(日) 13:30~
場所: 歴史民俗資料館2階
費用: 材料費100円(木版代)
持ち物: 筆記用具

彫刻刀(※お持ちでない方は、申し込みの際にお申し出ください。)

参加ご希望の方は、記念館(☎22-1000)まで申し込みください。
小学生低学年の方は、保護者同伴での参加をお願いします。

記念館新聞



福崎町立
柳田國男・松岡家記念館
〒679-2204
神崎郡福崎町西田原
1038の12
電話: 0790-22-1000

今月の奉職履歴

明治30年12月18日 大日本帝国海軍
兵学校教程卒業証書授与
20歳の静雄は、後に戦艦金剛の艦長となつた牟田亀次郎等とともに、海軍兵学校の第25期生として、首席で卒業しました。静雄の海軍生活は、ここから始まったのです。

松岡静雄を語るモノたち

⑤『太平洋民族誌』



國男が後年記した『海上の道』と同様の視点が備わっていたことが伺えます。

大正14年(1925)に刊行されました。10月号で紹介した『南溟の秘密』と同様に、太平洋南部の島々の気候風土・言語や文化、社会制度、さらにはそれらの島々が大航海時代に至り、いかにして西欧諸国に「発見」されたかについて述べています。

当時の日本では、あまり有用な先行研究がなかったのか、語学に堪能であった静雄らしく、海外の研究書も積極的に引用しています。さらには、島々の信仰や伝説については、日本の神話や『風土記』などとの類似点の指摘も試みられ、この時すでに静雄にも兄・柳田國男が後年記した『海上の道』と同様の視点が備わっていたことが伺えます。



柳田國男・松岡家記念館

☆☆入館案内☆☆

☆開館時間
9時~16時30分
(入館は16時まで)
☆休館日
月曜日、祝日の翌日
12月28日~1月4日
☆入館料
無料

故郷七十年を 読む



名作著書紹介
学費のかからない兵学校を希望した弟・静雄と同様、國男も一時は学資の足りない商船学校へ行って船長になりたいと考えていました。船の中で本を読み、外国へ行く生活に憧れを持っていました。二人の兄が学費を出して大学へ行かせてくれたため、國男の「船長熱」は立ち消えになりましたが、静雄は京都で勉強し、兵学校への道を進みました。
まだ國男が大学に在る間に兵学校を卒業した静雄は、月給の一部を國男にあげたりもしたそう
で、「兄さんに小遣いをくれたのはお前ばかりだ。名誉なことだ」と國男は冗談を言ったと書いています。兄弟の仲の良さを感じさせてくれるエピソードですね。



健やかに過ごせますように!

今年も鈴ノ森神社境内での奉納舞、柳田國男生家での竈祓ののち、綾探の曲などの曲芸や神楽舞・魁曲などのあでやかな獅子舞が次々と披露されました。多くのお客様に足をお運びいただき、ありがとうございます。



館日記

伊勢大神楽華やかに公演

11月11日(土)に、伊勢大神楽が記念館前広場にて公演されました。

伊勢大神楽は江戸時代から伝え続けられた伝統芸能で、伊勢神宮へ参拝できない人へお札を届けたのが始まりとされています。現在は国の重要無形民俗文化財となっており、西日本を中心に巡業を行っています。